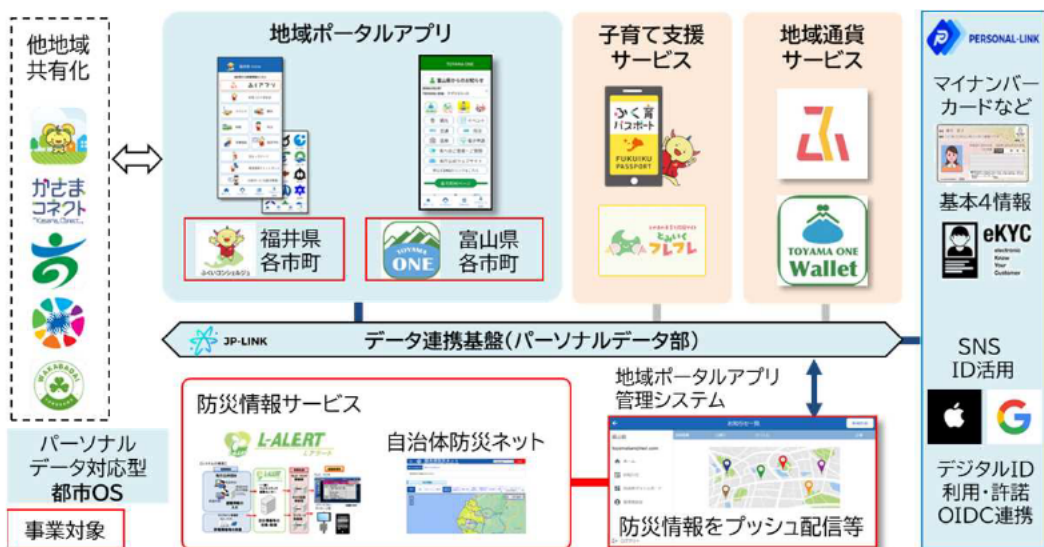


【都市OS・防災サービス共同利用】

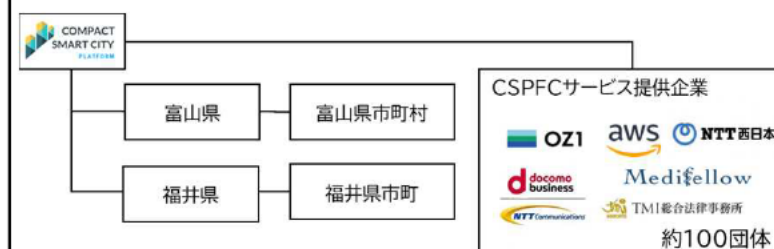
実施地域	福井県、富山県
実施主体	一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会（CSPFC）
事業概要	- 福井県と富山県では従来より安心・安全なまちづくりを推進しています。能登半島震災の影響により、防災脆弱性は人口流出へも影響している。 - 福井県と富山県では、パーソナルデータを扱う都市OSを整備済み（R4,R5）であるところ、今年度は上記の課題解決のため、地域ポータルアプリに、地域通貨、子育て支援サービス、防災情報のプッシュ配信や関連情報の可視化機能を追加することで非常時の情報アクセスを改善するためのデータ連携サービスの拡充を行う。 - 追加するサービスは、これまでのサービスと共にそれぞれ両県で希望する全ての県内基礎自治体において、過剰な負担なく利用が可能となる環境として整備する点について両県庁と協議、確認済み。

取組内容

- 県民向けサービス連携基盤：都市OS（福井県）
 - 地域ポータルアプリに管理システムの構築及びプッシュ通知機能の拡張を行う。
- 防災サービスの機能拡張（福井県・富山県）
 - 地域ポータルアプリのプッシュ通知機能を活用してL-アラートや防災ネットの情報を配信したり、県や市町村で整備している防災情報を整理して住民の非常時に簡単に情報にアクセスできる環境を整備する。



実施体制図



システム構成図

